



楠の葉

佐賀大学同窓会報 第27号

発行日 2017年7月1日

発行 佐賀大学同窓会

佐賀市本庄町1 佐賀大学 菱の実会館内
TEL 0952-23-1253
FAX 0952-25-5700
E-mail dousoukai@sadai.jp
ホームページ http://sadai.jp/alumni/

編集代表者 徳安和博



子宝と同窓会

佐賀大学同窓会会長 金丸安隆 (農学部・S43年卒)

会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成29年度もスタートし同窓会事務局では35年勤務された篠崎さんと23年勤務された末次さんがこの3月に退任、退職されました。ご両名は永年に渡り同窓会事務を担当し、同窓生の皆さんにも慕われその功績は計り知れません。長い間のご苦勞に対し心より感謝申し上げます。それに伴い平野事務局長の下、姉川、西村、真名子さんと新スタッフでスタートしましたことをお知らせいたします。

4月20日には春期定例役員会を開催し新年度の事業と予算案が承認され、5月18日には学長、副学長、各学部長出席での「佐賀大学と佐賀大学同窓会の意見交換会」を菱の実会館で開催しました。

今年度は代表役員会の開始前に大学の各学部長による「各学部の改組を含めたこれからの動向」について学習会を始めました。大学の急速な改革に対し進展するスピードに同窓会活動も遅れないように対応するためであります。

さて、「佐賀新聞」に3年ほど前から毎日1ページにわたり「すこやか佐賀っこ」と「同窓会」の写真が大きく掲載されるようになりました。「すこやか佐賀っこ」は0～5歳児の写真、住所、名前、特長などが記載されており、どの写真も笑顔で幸せを運ぶものであります。一方「同窓会」は写真、卒業年度、会場、幹事、コメ

ントが掲載され、小学、中学、高校、大学、各種学校様々です。定期的に開催されているものもあり、還暦、喜寿、傘寿、米寿等です。

この2項目についてなぜ毎日大きく掲載されるようになったかを考えると現在から将来に向けて大きな課題を内包しているからだろうと思います。

1つ目は著しい出生数の減少と高齢化です。人口減少により日本の社会形態、産業形態は変革せざるを得なくなっています。大学もその例外ではありません。子供はかけがえのない宝物です。大学の存在も危ぶまれる時代です。2つ目は個人主義が徹底し無縁社会と言われて久しく、人と人との絆が希薄になっています。人と人との交流を盛んにする一つとして同窓会は大きな力をもっているのではないのでしょうか。

小・中学の同窓会に出席すると20～30年のブランクもなんのその。すぐ当時の世界に戻ることができ同窓会は不思議な力を持つものです。

最後に前回の26号で「学生に対する就職支援について」県内外支部長さんにはアンケートをお願いしましたが、大学との協議の結果、「学生に対する就職支援」については各学部と各学部同窓会とでさらに協議を深め取り組むこととなりましたことをご報告します。

会員の皆様のますますのご壮健とご活躍を祈念いたします。



理事長就任に当たって

理事長 竹下 敬教 (教育学部・S51年卒)

平成29年度春期定例役員会で指名され、佐賀大学同窓会理事長を務めることになりました。私は、教育学部の卒業生（S51年卒）で有朋会に所属しています。教職を定年退職して5年になります。その間、有朋会事務局を担当させていただいています。同窓会事務局の仕事を通して学んだり考えたりした経験を、佐賀大学同窓会のために生かしていきたいと思っています。

平成28年4月に教育学部と芸術地域デザイン学部が設置されました。さらに、農学部と理工学部の改組も検討されています。「地域と共に未来に向けて発展し続ける大学」を目指している佐賀大学が更に充実・発展していくためには、同窓生の皆様の支援が不可欠であり、同窓会活動のより一層の活性化が望まれます。

今後、同窓会では「いかに、同窓生に同窓会活動に

参加してもらうか」「いかに、会費納入をしてもらうか」等の課題に取り組む必要があります。微力ながら佐賀大学同窓会と各学部同窓会の充実・発展に貢献できるように努めていきたいと思っています。会員の皆様のご協力の程よろしくお願い申し上げます。



有朋会総会懇親会

H28. 8. 27(土) 於：マリトピア



新事務局長あいさつ

事務局長 平野 禎亮 (教育学部・S50年卒)

平成28年9月から、佐賀大学同窓会事務局長を務めております平野禎亮（ひらのていすけ）です。教育学部卒業生（昭和50年卒）で、これまで教職に就いておりました。前任者からのお声掛けがあり、佐賀大学同窓会事務局の一員となりました。

佐賀大学の様子は、玄関横に「美術館」が開設されるなど、学内の様子も私たちの学生の頃とは大き

く様変わりしています。同窓会会員の皆様、ぜひ一度は母校佐賀大学に足を運ばれてはいかがでしょうか。

週3日程度の非常勤で勤めています。微力ではありますが、同窓会会員相互のつながりや同窓会と大学の連携に少しでもお役に立ちたいと日々奮闘しております。どうぞよろしくお願いいたします。



平成29年3月末にお二人の事務局員が退任されました。

篠崎萬佐恵さん

35年にわたり勤務されました。全学では名簿管理に力を注がれ、学部では楠葉と農学部同窓会の担当として貢献していただきました。

末次眞喜子さん

23年にわたり勤務されました。全学では同窓会費納入事務や会報発送に力を注がれ、学部では理工や医学部担当として貢献していただきました。

お二人の長きにわたるご貢献に対し感謝いたします。長い間ご苦労様でした。



✉ 支部だより ✉

佐賀大学同窓会佐大教職員支部会を再開!

先日、平成29年1月20日(金)18時より「夢の実会館多目的ホール」において、佐大教職員支部会を開催した。本会には100名以上の教員・職員が所属しているが、卒論、修論、博士課程の学生の指導など、非常に多忙な時期でもあったため、出席者は僅か12名であった。支部総会では、規約の整備を行い、役員を選出を行った。

正式な支部名を「佐賀大学同窓会佐大教職員支部」とし、支部には、本庄キャンパス、鍋島キャンパスの教員及び職員に加え、附属幼稚園、附属小学校、附属養護学校の教職員も含めることとした。また、支部に役員(支部長1名、副支部長4名(各学部同総会から1名)、幹事5名(各学部同窓会から1名))を置くこととした。

今季の役員は、次の通りで任期は2年である。支部長：穂屋下 茂(理工学部同窓会)、副支部長：中村隆敏(文化教育学部：有朋会)、測上道晴(経済学

部)、佐藤 武(医学部)、白武義治(農学部)、幹事：堤 公一(文化教育学部：有朋会)、江口達也(経済学部)、平尾泰博(理工学部)、吉賀豊司(農学部)。

支部総会後の懇親会参加者は、本会員に加え、来賓6名及び招待者3名(余興：巻頭言、三線演奏)の計21名であった。また、3月30日(木)には、平成28年度支部会員定年退職者(3名：田中嘉生(美術S49卒)、諸泉俊介(経済S49卒)、清田 勝(土木S50卒))の歓送会を行った。支部会は毎年開催することとなっているので、次回からは、定年退職者の歓送会を兼ねて支部総会を開催することにした。(敬称略)

支部長 穂屋下 茂(理工・S49卒)



鹿児島県支部総会・懇親会

平成29年1月28日午後6時から、鹿児島市内のホテル「レクストン鹿児島」において、鹿児島県支部の総会及び懇親会が開催された。本部から金丸安隆佐賀大学同窓会会長、宮尾正隆有朋会会長、西川末実楠葉同窓会副会長、島公二武理工学部同窓会副会長並びに川副操農学部同窓会会長のご参加をいただき、県内各地から駆けつけた支部会員10名(うち女性1名)の出席のもと、再会を喜び語り、楽しい集いとなりました。

総会は、まず会計担当の今村淳一氏より鹿児島支部より熊本地震お見舞いとして2万円を支出したことを含めた会計報告がなされ、支部長の挨拶に引き続いて、本部を代表して金丸同窓会長から支部会開催の祝辞と大学の現況ならびに同窓会全体の活動状況について報告がありました。

懇親会は支部会員最年長の竹下威氏(文理・S29卒)の音頭による乾杯の後、鹿児島の食を堪能しつ

つ、出席者それぞれが学生時代の思い出や、人生の喜怒哀楽を含めた自己紹介と近況の報告を行い、一回りしたところで、竹下氏の音頭で「巻頭言」に引き続き「南に遠く」を熱唱。さらに酒盃を交わしながら歓談し、少人数を忘れるかのような賑やかな、有意義な懇談会となり、最後に加治木隆一氏(経済・S59卒)の一本締めでお開きになりました。さらに恒例により二次会へと足が進みました。

支部長 上田 耕平(文理・S39卒)



関西支部総会・懇親会

関西支部の総会・懇親会は長い間休会しておりましたが、平成26年に多くの再開のご要望に応じて第一回生の陶山前支部長を初めとした有志の集まりから出発し、平成27年の立上げ総会を経て今回、第一回の総会・懇親会を平成29年2月11日(土)、大阪梅田『神仙閣』にて開催致しました。

同窓会本部のご協力により、関西在住約900名の同窓生に案内状を送付し、出席60名、欠席約300名の返信が有りました。前日より全国的な寒波となり、数名の方から開催可能かとの問合せも戴きました。当日は好天に恵まれ、60名全員参加でした。同窓会本部からも非常に足元の悪い中、来賓として金丸同窓会会長、宮尾有朋会会長、川副農学部同窓会会長、江口楠葉同窓会会長にご出席を戴きました。(皆様、予定より相当早く自宅を出発されたと後でお聞きしました。) 先ず、全員で記念写真を撮影しました。司会者の猿渡千歳様(S47年教育卒)の挨拶で総会が始まり、来賓のご紹介、支部長挨拶に続き来賓を代表して金丸会長よりご挨拶を戴きました。佐賀大学の現状報告及び同窓会活動を詳しく説明して戴きました。出席者一同、母校の益々の発展に意を強くし

た事と思います。

続いて陶山前支部長の乾杯の発声にて懇親会が始まりました。各同窓会会長からは最近の活動状況についてご説明及びご報告を戴きました。それから出席者全員に各テーブル毎に自己紹介及び近況を報告して戴きました。

会が盛り上がってきた所で、DVD鑑賞(大学全景の空撮等)、その後伊澤良海様(S48年理工卒)の“巻頭言(南に遠く)”に始まり、学生歌(楠の葉の)を全員で合唱し、万歳三唱にて閉会しました。不慣れの為、不手際も有り、皆様にはご迷惑をお掛け致しました。しかし、同窓会に初参加の方も多く次回も参加して戴ける様な関西支部総会・懇親会を続けて参りたいと考えております。

支部長 田中 誠(理工・S47卒)



平成29年熊本支部総会の開催

平成29年5月14日、熊本市の「メルパルクホテルくまもと」において佐賀大学同窓会熊本支部の平成29年総会を開催しました。

参加者は会員52名と佐賀大学及び同窓会本部から6名のご参加を頂きました。

総会に先立ち、小牧孝一氏(農学・S54年卒)と中野幸治氏(医学・H2年卒)から、「熊本県農産物のブランド戦略・イチゴ新品種(ゆうべに)」と「鼻炎・鼻づまりの実態と対策」について、専門的立場から分かりやすく話してもらいました。

総会では藤本会長が、「今後とも同窓会活動を通じて、同窓生の交流と異業種間交流を進めて行きたい」と挨拶しました。

同窓会本部の金丸会長は、同窓会本部と各支部の活動状況を踏まえながらお祝いの言葉を述べられました。

懇親会は、佐賀大学の滝澤副学長の乾杯で始まり、各テーブルごとに参加者全員テーブルスピーチを行い大いに盛り上がりました。

会場では、「寮歌祭」のDVDが流れ大変盛り上がり、来年の再会を約束しながら散会しました。

会員の皆様を始め、大学や同窓会本部の関係者の皆様方に、心から感謝申し上げます。

事務局長 立場 久雄(農学・S51卒)



佐賀県内地区会報告

有田地区総会・懇親会

平成29年2月4日(土)16時より、有田地区総会・懇親会を来賓9名会員33名の参加のもと、有田ポーセリンパークに於いて開催しました。

今回の総会には、佐賀大学から学長の宮崎耕治様、芸術地域デザイン学部長の小坂智子様、学長補佐の吉永達雄様、同窓会から会長の金丸安隆様をはじめ5学部の同窓会長・理事長様にご出席いただきました。

私どもの予想を超えたこれほどの方々のご列席に恐縮すると共に、地区設立への皆様のご期待の大なることを知り、緊張と責任感に襟を正したところで

総会において「規約」「役員」が協議・承認され、ここに有田地区が設立いたしました。早速、役員のご紹介があり、会長から有田地区会を核にして同窓生の人間関係をしっかりと結び、母校の発展、地域の活性化に寄与しようという趣旨のあいさつがありました。

懇親会に移り、宮崎学長様のあいさつを戴きました。昨今の厳しい状況、その中での卒業生のネットワークへの期待を熱っぽく語られました。

小坂学部長様は、芸術地域デザイン学部の有田キャンパス新設について説明され、焼き物で日本の文化を開拓する人材を育成していきますと気合を込

めて話されました。

私ども同じ有田に住んでいる者として、有田キャンパスで学ぶ後輩の学生たちへの支援・協力を力を尽くそうという思いを強くしたところです。

その後、食事をとりながらお互いの親睦を深めました。

実は、有田地区は、平成28年6月26日(日)に結成準備会を有田ポーセリンパークで開催しました。来賓に学長補佐の吉永達雄様を招き、出席会員15名。同窓会で大学の支援組織として支部創設が決定された経緯を説明し、正式な総会の取り組みについて話し合いました。また、互いに自己紹介、近況報告などをし交流を深めたところでした。

いよいよ正式に有田地区会が発足しました。会を充実させ発展させていくためにどのようにしていかねばならないか、課題は山積ですが、会員で力を合わせて取り組んでいく覚悟しております。

有田地区会会長 松尾 利興 (教育・S39卒)



小城・多久地区総会・懇親会

平成29年2月5日(日)、小城市寿屋別館で開催し、宮崎耕治学長や金丸安隆同窓会会長はじめ各学部同窓会長ら6名の来賓にご出席いただいた。

総会は、地区会会長のあいさつに続き、宮崎学長から佐賀大学が地域で果たす役割りを今後もさらに強めていくとのお話を伺った。金丸会長からは、同窓会が県内すべての11地区で結成されたことや、各学部同窓会の現状報告を受けることができた。

本地区会の規約を一部改正し、事務局体制の強化(事務局長、副事務局長を設置)を図ったところである。

記念撮影後、懇親会となった。

会長のあいさつの後、菱実会副会長の中島氏の発声で乾杯をして、和気あいあいの中で、あっという

間に時間が過ぎていった。中締め、本締めをするほどの活況でした。

ただ、昨年1月設立時の参加者と比べて、今回は少なくなっており、次回開催までの課題も見えてきました。

小城・多久地区会会長 古田 寛 (教育・S40卒)



佐賀大学と佐賀大学同窓会との 意見交換会



平成29年5月18日(木)18時から菱の実会館多目的室において、大学と同窓会との恒例の意見交換会が開催された。大学側からは学長、理事・副学長4名、幹事1名、学部長6名(代理を含む)の計12名の参加があり、同窓会側からは会長、副会長5名、理事長、副理事長2名、事務局長、理事1名の計11名の参加があった。

主催者挨拶の後、佐賀大学学長の挨拶があった。資料に基づき、経営理念、有田キャンパス、

メディカルイノベーションラボ、クリエイティブ・ラーニングセンター、マイクロソフトイノベーションセンター等について説明があった(詳細は佐賀大学ホームページ参照 <http://www.saga-u.ac.jp>)。また、2018年から進学人口が実数として減り出すことに伴う倍率低下等の問題と志願者増に対する大学の対応についてや、頑張りがいのある大学、特色ある大学への脱皮のための方策として、IRを活用した資源の最適化配分を行うこと、新領域への人の配置を行うこと、外部資金獲得につながる学内スペースの活用があがった。

その他、かささぎホールの改修工事、COC+、URA(リサーチアドミニストレーター)業務、大学と企業の大交流会、佐賀大学基金の一本化などについても説明があった。

次に同窓会側からは、教員採用試験の支援講義、芸術地域デザイン学部同窓会の在り方、同窓生と在校生の交流事業、同窓会の存在を在校生に知らせる方法、在校生の海外留学支援、国家試験等への支援について説明があった。いずれも佐賀大学同窓生(在校生)に対する学習、就職に対する支援策を充実させていくための具体的取り組み状況として説明された。

意見交換では、同窓会から地域の支部会などに大学の教員に講演を頼みたいという要望がだされ、佐賀大学HPから教員情報が取得できるしURAに相談することもできると回答があった。また、同窓会から、佐賀大学入構料200円について何とかしてほしいという要望を地域から頂いているという意見に対し、各方面から意見を求め、整合性を取りながら検討したい。佐賀大学美術館見学者の入構は現在も無料であるという回答があった。

文責 徳安 和博(教育・H2年卒)



平成29年度春期定例役員会

新役員と事業計画、予算を決定

平成29年度春期定例役員会を4月20日(木)、佐賀大学「菱の実会館」で開催し、平成28年度事業報告・決算報告、平成29年度事業計画案・予算案及び新役員を承認した。

I. 平成28年度事業報告

1. 会報発行事業

佐賀大学同窓会報「楠の葉」25、26号発行。

2. 事業活動

1) 支部会、佐賀県内地区会活動

県外11支部会、県内9地区会の開催

2) 佐賀大学との意見交換会

大学から11名、同窓会から11名参加

3) 佐賀大学校友会への支援校友会費として

2,952,500円支援

4) キャリアデザイン講座

「キャリアデザイン」にOB講師3名派遣

5) 佐賀大学同窓会会長賞

2団体及び3人(個人)に授与

6) 第24回佐賀県青春寮歌祭

平成28年11月19日(土)、20名参加

佐賀大学混声合唱団応援参加

7) 開学祭支援事業

本庄・鍋島キャンパス大学祭支援

8) 懇話会(学習会)

今年度は実施せず

9) 佐大同窓会Webページ

佐賀大学同窓会Webサイトの制作と運用

II. 平成29年度事業計画

平成28年度事業の継続と充実を図る。

III. 平成28年度決算及び29年度予算(概要)

[単位:千円]

科 目	28年度決算	29年度予算
収入の部		
前年度繰越金	1,186	1,304
特会から繰入	1,500	0
会館維持積立金一部繰入	2,422	2,324
Web制作費負担金	771	0
収納金	13,321	12,782
人件費清算	209	1,500
雑収入	0	0
合計	19,409	17,910
支出の部		
運営費	8,817	7,665
業務・活動費	9,044	8,805
予備費	243	1,440
合計	18,104	17,910



平成29年度 佐賀大学同窓会役員名簿



役 職	担当	氏 名	卒業年学科	役 職	担当	氏 名	卒業年学科	役 職	担当	氏 名	卒業年学科
会 長		金丸 安隆	農 学・43	理 事	会報発行	松尾 和俊	経 済・62	理 事	支部強化	吉賀 豊司	農 学・H2
副会長		宮尾 正隆	教 育・36	〃	〃	江村 正	医 学・62	監 事		大庭 敏伸	教 育・36
〃		江口 洋一	経 済・49	〃	〃	中島 道夫	理 工・47	〃		福母 祐二	経 済・H2
〃		西村 知久	医 学・H4	〃	情報管理	中村 隆敏	教 育・61	〃		吉岡めぐみ	医 学・H12
〃		穂屋下 茂	理 工・49	〃	〃	八谷 浩司	経 済・61	〃		椿 忠彦	理 工・53
〃		川副 操	農 学・44	〃	〃	古島 智恵	医 学・H11	〃		松尾 正紀	農 学・43
理事長	庶務部長	竹下 敬教	教 育・51	〃	〃	米満 潔	理 工・60	理 事	事務局長	平野 禎亮	教 育・50
副理事長	会報発行部長	小池 良美	農 学・56	〃	〃	田中 宗浩	農 学・H4	顧 問		久間 善郎	文 理・37
〃	情報管理部長	中野哲太郎	経 済・48	〃	学生支援	中島 範子	文 教・H13				
〃	学生支援部長	佐藤 武	医 学・59	〃	〃	木塚 徳男	経 済・60				
〃	支部強化部長	島 公二武	理 工・50	〃	〃	市場 正良	医 学・61				
理 事	庶 務	長 安六	文 理・44	〃	〃	池上 康之	理 工・62				
〃	〃	相島 慎一	医 学・H8	〃	〃	溝口 宜彦	農 学・56				
〃	〃	津留 保生	理 工・H1	〃	支部強化	堤 公一	教 育・H6				
〃	〃	田中 俊之	農 学・59	〃	〃	西川 未実	経 済・53				
〃	会報発行	徳安 和博	教 育・H2	〃	〃	江口有一郎	医 学・H6				

* 庶務→庶務部 会報発行→会報発行部 情報管理→情報管理部 学生支援→学生支援部 支部強化→支部強化部

平成29年5月現在

同窓会NOW

有朋会（教育）

染色教室へ着任にあたって

7年ぶりの春の佐賀の空は相変わらず広く、清々しく私を迎えてくれました。

美術館の新設や周辺の道路の整備など、未来に向かって着実に変わりつつある佐賀大学の姿に背中を押される思いで、この度、芸術地域デザイン学部の講師として着任いたしました。母校に勤められることは大変名誉なことと思うと同時に、責任の重さも感じているところです。

思い起こせば私が学生だった頃、染色教室はいつも穏やかな雰囲気に含まれていました。作品を制作する上でも大変居心地がよく、自分らしくいることのできる空間でした。それは良き先輩や後輩、先生に恵まれていたからだと思えます。退任された田中嘉生先生の偉大な功績を前にして足のすくむ思いで

芸術地域デザイン学部 鳥谷さやか



すが、染色教室の良い部分を絶やさぬ様に精一杯努力して行くつもりですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。皆様もお近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りいただき、在校時のお話や多彩な情報をお聞かせ願えればと思います。

昨年度から新学部が設立されたことで幅広い分野の学びが可能となり、学生にとっての選択肢も増えました。そのような中で、佐賀大学の染色教室はこれまで、染色平面表現の追求を研究課題としてきたという伝統があります。時代とともに変わっていくところもあるかと思いますが、染色教室としての伝統を守りながら未来へ発展させていくことを目標とし、本学部の一翼を担っていけたらと思います。

同窓会NOW

楠葉同窓会（文理・経済）

佐賀大学生の今ごろの就職事情 —就職戦線異常アリ!?

佐賀大学支部長 松尾 和俊（経済・S62年卒）



私は、昭和62年に佐賀大学経済学部経済学科を卒業、旧佐賀医科大学に採用され統合前に佐賀大学へ転任となりました。楠葉同窓会では、会報誌「なんよう」の編集を担当させていただいており、2年前には第100号記念誌の発行に運よく携わることができました。

今年4月より就職支援課へ異動となりましたので、直近の学生の就職事情などについてお願いも含めてご報告させていただきます。

今年3月の学部卒業生の就職内定率は98%を記録し、大学統合後確認できるデータ上最も良い数値となりました。大変喜ばしいことですが、ただ、昨今は如何にして優秀な人材に佐賀（地元）に残ってもらうかということも大学の役割として期待されています。お聞きになられた方も多と思いますが、佐賀大学は現在COC及びCOC+という文部科学省の事業に採択され、地元のリーダーとなるような人材育成や地元就職率向上などのための施策に取り組ん

でいます。地域志向型キャリア教育などの教育改革をはじめ、地元企業と学生の交流会及び地元企業だけを対象とした合同会社説明会などを開催することにより、一人でも多くの学生に地元の良い企業を知ってもらうような支援を行っています。

民間のナビ会社の統計によれば、来年卒業組の内定も順調とのこと、本学でも早々に内定をいただいた学生の話がたくさん聞こえてきます。また、大学の取り組みの影響もあるのでしょうか（そう信じていますが）、2019年卒業組の就職・インターンシップガイダンスへの学生参加数が今のところ1.5倍から2倍近い伸びとなっています。

学生の皆さんには、しっかりと就活へ向けた準備をした上で悔いのない選択をしていただくことを望むとともに、県内外におられるOB・OGの皆さまへはインターンシップや就活に来た後輩へのお心がけの程、よろしくお願い致します。

同窓会NOW

佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会

医療ICTによる産学連携
—いのちを繋ぐメディカルネット—

メディカル・イノベーション研究所 所長（佐賀医科大学一期生） 末岡榮三郎



「患者さんが外来に来て、診察を受け、検査し、診断、治療を受け在宅に戻るといふ、この医療の流れのそれぞれの場面の中に、ICT/IoT/AIの出番があると思っています。協力をお願いできませんか。」今をときめく本学農学部出身の、オプティム社菅谷社長への挨拶からメディカル・イノベーション研究所の取り組みは始まりました。医療ICTの取り組みは世界中で行われていますが、私たちの取り組みは、医療現場を断片的でなく総合的にとらえること、佐賀という地域医療を念頭に置いて医療ICTシステムを構築することを特徴としています。そのためには、医師だけでなく様々な医療スタッフ、連携先もオプティム社を中心に様々な企業との連携を念頭に置いて

ています。

現在は人工知能の技術を利用した眼底画像の診断支援、緊急車両やドクターヘリにおけるスマートグラス活用のモデルを構築していくという2つのプロジェクトが動いています。これらの研究成果は特許取得や医療機器としての申請を進めながら応用技術を世界に発信していく予定です (<http://meditech/wind-from-the-west-sagauniv-optim-part1/>)。また、今後は医学部の先生方のみならず、農学部や理工学部の先生方との連携も視野に入れています。ぜひ、学部を超えた活動の場としてメディカル・イノベーション研究所をよろしくお願ひします。

同窓会NOW

菱実会（理工学部同窓会）

最近の数理科学科

佐賀大学大学院工学系研究科数理科学専攻 中川 泰宏



数理科学科の卒業生の皆様、ご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様が在籍されていた当時と比べると、数理科学科の先生方もかなり入れ替わりしました。現在は教授5名、准教授4名、講師2名の計11名の教員が所属しております。

本来なら数理科学科の歴史を振り返りいろいろと書くべきですが、佐賀大学に赴任してからまだ4年半しか経過していない私に何が書けるのかと困惑しております。いろいろと考えました結果、平成27・28年度と就職委員を担当しておりましたので、最近の卒業生の就職状況について少し書いてみようかと思ひます。

平成28年度の卒業生は31名でした。そのうち、大学院への進学が10名、企業等への就職が7名、教員が5名、公務員が3名でした。また、就職の決まっていな6名のほとんどが教員・公務員の再受験となっております。ここ数年はだいたいこのくらいの

数字で安定しているようです。

最近では就職活動の支援も積極的に行っております。卒業生の方に来ていただいて講演していただく機会も増やしております。同窓会の皆様には積極的に御協力していただければと期待しております。

また、例年8月に「高等学校教諭と佐賀大学数学教員との交流会」を行っており、今年は第10回目を向かえようとしております。これまでは、入試の情報交換が主な目的でしたが、昨年度は就職活動の支援の一環として、教員を志望している学生にも参加してもらい、貴重なアドバイスをいただくことができました。

最後になりましたが、卒業生の皆様方の今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。また、今後のご支援も宜しくお願ひ致します。

就任のご挨拶

同窓会の皆様には、時下ますます御清祥の段、お慶び申し上げます。平素より農学部学生の教育研究並びに就職への御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年4月、渡邊啓一教授の後任として、農学部長を拝命いたしました。よろしく申し上げます。私は昭和52年に佐賀大学農学部を卒業した本同窓会の会員で、足掛け45年間、本学に巣くっている古狸であります。農学部は、私の学生時代には農学科・園芸学科・農業土木学科・農芸化学科の4学科でし

佐賀大農学部長 **有馬 進**



たが、30年前2学科に、12年前に現行の3学科になりました。そして時代の要請に応え、平成30年には、1学科にリニューアル致します。新しい学科名が「生物資源科学科」で、4コース制（生物科学コース・食資源環境科学コース・生命機能科学コース・国際地域マネジメントコース）となります。農学・生命科学を基盤として、ボーダーレスの世界に飛躍する新たな農学部にご期待ください。

平成28年度佐賀大学同窓会長賞表彰受賞者



～平成28年度学位記授与式で表彰状及び副賞を授与しました～



佐賀大学同窓会長賞表彰規程（抜粋）

（平成27年12月10日制定）

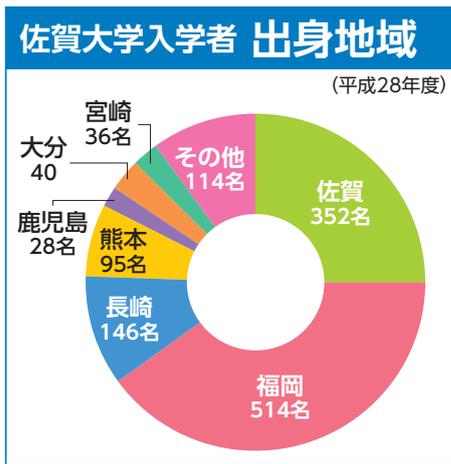
- 第2条 佐賀大学の学生及び学生団体（同窓会費を納入した者）を対象に、社会活動、課外活動、学術研究活動において、地域貢献が顕著であると認められた場合に授与する
- 第5条 同窓会長賞の授与は、原則として毎年各学部1名又は1団体とし、表彰状及び副賞を学位記授与式において授与する

学部・研究科	氏名（団体名・代表者氏名）	表 彰 理 由
教育学部	団体 さがのわ 代表者：副島 佳織	佐賀の人たち、特に若者世代に、ふるさと佐賀の素晴らしさを知り誇りをもってもらい、また佐賀の歴史や遺産を知ってもらうために、様々なイベントを毎年開催するなどの活動をしている。地域の教育と振興に大きく貢献した。
経済学部	個人 岡島 貴弘	学生団体「さがCOLOR」代表として、佐賀県内20代の有権者の投票率を日本一にする活動を行ったり、多久市の地域活性化の一環として若者同士をつなぐ無料の「飲み会」を開催するなど、佐賀及び多久市の活性化に大きく貢献した。
医学部	個人 古川祐太郎	地域の医療活動に興味を持ち、地域とどうかかわっていくかを考え、医学の知識を生かし地域ボランティアの方々と連携を取りながら活動を行ってきた。老人サロンに出かけ高齢者の健康相談や医学関連のレクチャーを行ったり、学童保育では子ども支援を行ったりしてきた。
理工学部	団体 平瀬研究室 基山フューチャーセンター プロジェクトチーム 代表者：荒牧 優希	基山町のまちづくりの市民活動団体「基山フューチャーセンターラボ」と連携し、まちづくり活動拠点整備として日本酒造会社の建物の改修デザインを持ち寄ったり、外装デザインを提案したりと、まちづくり活動に大きく貢献した。
農学部	個人 苗代 麻里	佐賀大学の高大連携事業において、唐津東高校の生徒に対し学会・発表会におけるポスターや学会の要旨の作成方法や、データの取り方・解析方法などの指導を行った。その成果として文部科学大臣賞など多数の賞を受賞するなど、高大連携事業に大きく貢献した。

佐賀大学広報誌「かちがらす」 37号より

佐大生データ から 何が見えるか？

広報誌「かちがらす」のアンケートで、保護者の方からご要望の多かった学生のデータをまとめました。就職の情報など、参考になりましたら幸いです。(広報室)

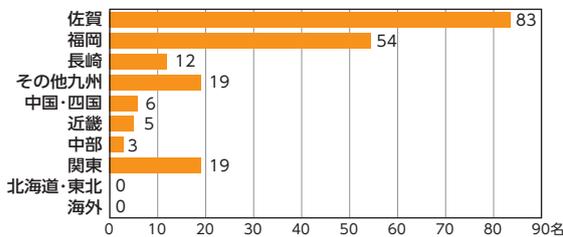


平成27年度 産業別就職状況

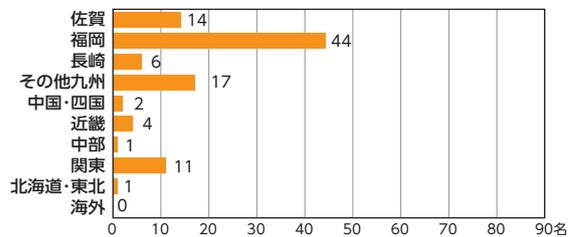
	農業・林業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	御売・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス業	サービス業	公務員	総計
文化教育学部	0	5	18	1	18	11	21	14	4	4	4	7	70	6	2	2	14	201
経済学部	0	11	20	3	23	11	25	37	14	7	6	4	9	7	10	6	45	238
医学部	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	142	0	0	8	152
理工学部	1	47	77	2	48	3	12	4	2	12	2	0	11	2	3	0	18	244
農学部	2	7	31	1	2	3	17	2	0	4	1	3	3	3	9	0	12	100
計	3	70	146	7	91	28	76	57	20	28	13	14	93	160	24	8	97	935

地域別就職状況 (平成27年度)

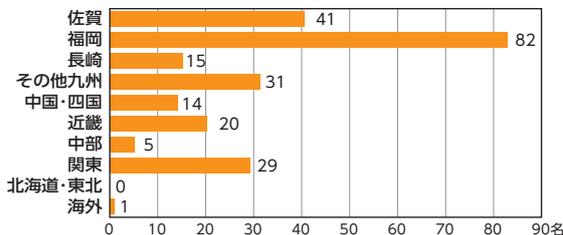
文化教育学部



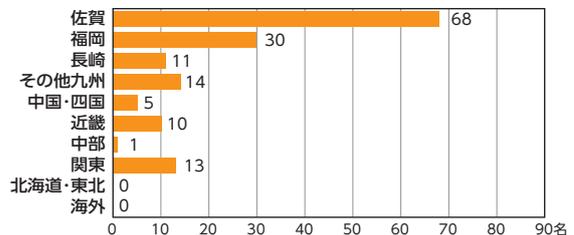
農学部



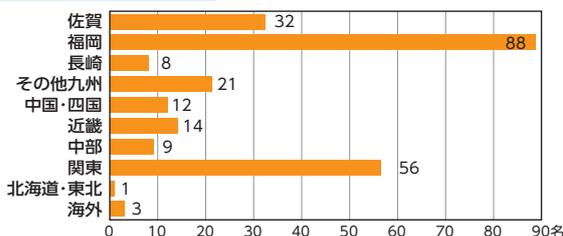
経済学部



医学部



理工学部



おもな就職先

- 文化教育学部： 国公立学校教員／佐賀県庁／福岡県庁／JTB／大和証券／日本郵便／アイ・ケイ・ケイ／JR九州／他
- 経済学部： 国税局／福岡県庁／福岡市役所／長崎市役所／佐賀銀行／日本郵便／福岡銀行／第一生命保険／ミソタ／木村情報技術／他
- 理工学部： 佐賀県庁／福岡県庁／三菱電機ビルテクノサービス／三井住友建設／本田技研工業／佐賀鉄工所／東芝／NOK／ワイビーエム／松尾建設／他
- 農学部： 佐賀県庁／大分県庁／JA佐賀／化学及び血清療法研究所／フランソア／ピエトロ／ふくや／久光製薬／伊藤ハムウエスト／久原本家／他
- 医学部： 佐賀大学病院／九州大学病院／長崎大学病院／熊本大学病院／神戸大学病院／東京女子医科大学病院／自治医科大学病院／九州医療センター／好生館／他

佐賀大学広報誌「かちがらす」は以下で閲覧できます。
<http://www.saga-u.ac.jp/koho/>

恩 師 情 報 ……この一年

定年退職（平成28年3月）

高野 茂 教育学部教授	西尾 光弘 大学院工学系研究科教授	相澤 照明 全学教育機構教授
田中 嘉生 芸術地域デザイン学部教授	石橋 孝治 大学院工学系研究科教授	瀬戸口俊明 海洋エネルギー研究センター教授
ラタナーヤカ・ピヤダーサ 経済学部教授	清田 勝 大学院工学系研究科教授	
熊本 栄一 医学部教授	諸泉 俊介 全学教育機構教授	

訃 報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

杉谷 昭 佐大名誉教授（教育学部）平成28年5月24日	藤原 勲 佐大名誉教授（教育学部）平成28年10月21日
杉森 甫 佐大名誉教授（佐賀医科大学：学長）平成28年7月19日	米倉 利昭 佐大名誉教授（教育学部）平成28年11月23日
近藤 弘樹 佐大名誉教授（理工学部）平成28年9月4日	宮口 尹男 佐大名誉教授（農学部）平成29年1月1日

ホームカミングデーの開催 下記対象の方々に案内状が送られてきますので、奮ってご参加を！

- 【期 日】11月25日(土)13:30～18:00 【場 所】佐賀大学経済学部4号館及び美術館
- 【目 的】佐賀大学の卒業生に母校を訪問してもらい、母校の現状を知り、学友との再会と交流を深め、今後の母校へのご理解とご支援をいただく。
- 【対 象】佐賀県・長崎県・福岡県在住の卒後20、30、40年及び50年の節目を迎えたOB、OGとするが、卒業年等にかかわらず、広く同窓生に呼びかける。
- 【内 容】学長の話、学生との交流会、美術館見学、懇親会等

返信

上記対象の方々に案内状が送られてきますが、それ以外で参加を希望される場合は
「校友会事務局」メール：kouyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp までお知らせください。

「第25回佐賀県青春寮歌祭」参加のご案内

- ・日 時 平成29年11月18日(土) 13時30分から17時30分（入場無料）
- ・会 場 佐賀市交流センター「エスプラッツホール」佐賀市白山2-7-1 エスプラッツ3階

佐賀大学も出場します。奮ってご参加ください！！

同窓会費納入のお願い

佐賀大学同窓会は、会報「楠の葉」の発行、学生の就職支援、支部・地区同窓会の組織化と支援、学園祭の支援、佐賀大学校友会の支援など多くの事業を行っています。それらの活動は、皆さん方が納入していただく会費によって運営されています。同窓会費の納入を是非よろしくお願いします。！

会費を納めていない人にお声かけをお願いします。

同窓会の動き（H29.1～H29.12）

1.1 佐賀大学同窓会会報「楠の葉」第26号発行	(今後の予定)
4.13 佐賀大学同窓会「第1回代表役員会」・第1回学習会	7.29 佐賀県内地区役員会／菱の実会館多目的室
20 佐賀大学同窓会「春期定例役員会」・第2回学習会 ／菱の実会館多目的室	10.12 佐賀大学同窓会「第3回代表役員会」・第4回学習会
5.9 佐賀大学同窓会「臨時代表役員会」	10.19 佐賀大学同窓会「秋期定例役員会」・第5回学習会 ／菱の実会館多目的室
18 佐賀大学と佐賀大学同窓会の意見交換会 ／菱の実会館多目的室	11.18 第25回佐賀県青春寮歌祭／エスプラッツホール
6.8 佐賀大学同窓会「第2回代表役員会」・第3回学習会	12.14 佐賀大学同窓会「第4回代表役員会」・第6回学習会

ご意見
メール
等募集

会報についてのご意見をお寄せ
いただく場合は、郵送のほか電
話またはE-mailでも受け付け
ております。

住所変更等
ご連絡の
お願い

住所等が変更になられた場合は、必ず同窓
会事務局へご連絡ください。
Tel：0952-23-1253 Fax：0952-25-5700
E-mail：dousoukai@sadai.jp